

コロナ禍の今だからこそ 読みたい！ 観たい！

コロナショックと昭和おじさん社会 (2020/6)

〔分類番号：302.1カ〕
河合 薫 著 日経プレミアシリーズ



本書は、日経ビジネス電子版に連載されたコラムを編集した書籍。コロナ禍の影響で噴出した現在の様々な問題が、実は、コロナ以前からすでに内在していたのだと著者は断定する。今を
考える時直を得た一冊である。

1970年代の高度経済成長期から形成された家族観、職業観等。それらを構築してきた「昭和のおじさん達」は、いまだに、綻びた体制にしがみついている。そうした問題や矛盾が、奇しくもコロナウイルスによって暴き出される結果となった。

巷に溢れる表面的なコロナ関連情報では見えてこない、社会に広がる問題の本質をじっくりと読み込みたい。
(すらだ)

DVD マルタのやさしい刺繍 (2006/スイス映画)

監督：パティナ・オベルリ



80歳のマルタは夫に先立たれ、立ち直れずにいた。彼女が若い頃に縫った美しい下着を見た友人が、夫と営んでいた雑貨店をランジェリーショップに改装するようアドバイス。

マルタはかつての夢に、生き甲斐を見つけたかに見えたが、そこはスイスの保守的な片田舎。風紀を乱すと嫌がらせを受ける。また伝統文化である刺繍を下着に取り入れるのは、文化の冒涇だとののしられる。

しかし、マルタは負けることなく、仲間たちの力を借りて徐々に地域に受け入れられていく。

マルタの賢い生き方は、“やさしい”という言葉に象徴され、高齢期を生きるヒントが満載。コロナ禍で夢を諦めようとしている人々にも、希望と勇気を与えてくれる秀作。
(はっしー)

定点観測 新型コロナウイルスと私たちの社会 2020年前半 (2020/9)

〔分類番号：304モ〕 森 達也 編著 論創社

表紙に「コロナ禍における社会の動向を記憶するための必読書」とある。

「馴致^{じゆんち}(※)能力の高さゆえに、そのどうしようもなさや忘れたり無かったことになってしまう可能性が日本人にはある」という懸念から企画された一冊。

医療をはじめ16分野にわたる論者たちが、現場の混沌と戸惑いや情報の裏側、過去の感染流行と社会の動向を考察するなどの記録が生々しい。



当初の医療対策の混迷と政府見解は絡み合い、ジェンダーの視点から綴る介護や暴力などの子細な記録からは、当時メディアで報じられたことが氷山の一角であったと知る。

コロナ禍の終息は先が見えない。「災禍を越えて社会は変わる」と言われるが、果たして、それは忘れていく私たちが曖昧なままにしておくだけではないのだろうか。
(白くま)

(※) 馴致/なれさせること。なじませること。また、徐々にある状態になっていくこと。



情報ライブラリー利用案内

- 利用時間 9:00~19:00
- 休館日 月曜日、祝日、年末年始、図書整理日(月末)
- 貸出数 図書5冊(2週間)
ビデオ・DVD1本(1週間)
郵送での貸出、返却も行っています

★パッケージ貸出のご案内★ 男女共同参画の啓発、学習などにご活用ください!

利用目的に合わせて図書やDVDをまとめて貸し出すサービスを行っています。(~30冊程度)

- 利用者登録(団体)が必要
- 貸出期間は1ヶ月





新着図書



◆HPでも新着やテーマ別の図書・DVD等を紹介しています◆

タイトル	内容
きみがつくる きみがみつける 社会のトリセツ 稲葉麻由美 高橋ライチ 舟之川聖子 共著 三恵社 (2020.12)	大人になる前の10代へ、社会で生きていくうえで知っておきたい大切なことについて、テーマごとに自分自身のトリセツ(取扱説明書)を作るためのアドバイス満載。そして、大人も一緒に読んでほしい一冊。自分らしく生きていくためのトリセツをつくってみよう。
元女子高生、パパになる 杉山文野 著 文藝春秋 (2020.11)	セーラー服を着ていた元女子高生で、LGBTQの啓発活動家としての生き方、仕事や家族への想い、そしてパパになるまでの実録奮闘記。未来が見えず、死のうと思っていた過去の葛藤さえもテンポ良く書かれていて、著者の明るい人柄を感じさせる。セクシュアル・マイノリティにまつわる内容が中心ではあるが、多様性社会を考えるきっかけになる本である。
子育て後に「何もない私」にならない 30のルール ポーク重子 著 文藝春秋 (2020.12)	一足先に子育てを終え第二の人生と向き合っている著者が自身の人生を振り返り、「自分の人生」を生きる為のノウハウを紹介。『いい娘、いい妻、いい母なんて忘れちゃえ』著者の言葉に背中を押される。
女の子はどう生きるか 教えて上野先生 上野千鶴子 著 岩波書店 (2021.1)	女の子が抱いた学校、家庭、社会でのジェンダーに関わる疑問に答えた本。社会に潜む差別や刷り込まれた価値観を洗い出し、わかりやすく説く。ジェンダー入門書としてもおすすめの一冊。
フェミニストってわけじゃないけど、 どこか感じる違和感について ～言葉にならないモヤモヤを 1つ1つ「全部」整理してみた～ バク・ウンジ 著 吉原育子 訳 ダイヤモンド社 (2021.4)	仕事・家庭・社会・結婚…様々な場面で押しつけられる「理想の女性像」にうんざりしている女性は多いはず。そんな違和感だらけの日常を当たり前にならないために、声を上げ続ける著者。控えめにも感じるタイトルは、「誰だって声を上げていい」ということを教えてくれる。
サフラジェット ～平等を求めてたたかった女性たち～ ティヴィット・ロイツ 著 富原まさ江 訳 合同出版 (2021.1)	英国で女性の投票権獲得のために、大胆な行動と揺るぎない熱意、団結で闘った女性たちの物語。彼女たちの闘いが、いかに長く険しい歴史であったか、詳細に描かれている。

あすてらす 映画上映会



(C) 現代ぶろだくしょん

9月18日(土) 14:00～

「一粒の麦 荻野吟子の生涯」

(山田火砂子/2019年/110分)

日本初の女医、社会運動家として、不屈の精神と大いなる愛に生きた波乱の生涯。

無料・要申込・定員 70名

(日時・内容は都合により変更になる場合があります)

期間限定!

あすてらすの本を
送料無料で貸し出します!

コロナ禍で、なかなか来館できない皆さまのために、期間限定で始めたサービスを今年度も続けています!
この機会にぜひ、ご利用ください。

映画上映会では、女性の生き方、家族とのかかわり方など、女性に関わる問題をテーマとする映画をお楽しみいただけます。

-* 編集後記 *-

もう20年以上前、母の本棚で見つけたある昭和の女優さんの献立日記。老いて食が細くなる分、少量ずつ旬のお惣菜が並び食卓のなんと豊かなことか。「食」に限らず彼女の丁寧な日々の暮らし方は、わたしの憧れなのです。(まゆ)

■お問い合わせ先■

島根県立男女共同参画センター「あすてらす」情報ライブラリー
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 236-4

Tel : 0854-84-5557 Fax : 0854-84-5589

ホームページ <https://www.asuterasu-shimane.or.jp>